

## 第14回山の小さな音楽会 「自然豊かな楽校で、温かく、アットホーム」 「とても“大きな”音楽会！」

### 1 「山の小さな音楽会」は、温かくアットホームな雰囲気で、「大きな音楽会！」



合同演奏を楽しむ！

千万町の田植えも終わり、イネが根づいてきました。山々の新緑も鮮やかな、5月20日(日)「第14回山の小さな音楽会 in 千万町楽校」が開催されました。千万町楽校2階のコンサート会場に、満員に近い100名ほどの観客のみなさんが集まってくださいました。千万町・木下や宮崎学区の地元の方をはじめ、出演者のつながりで来てくださった方、豊橋や刈谷など遠方から来てくださった方もみえました。

「自然豊かなところでの音楽会、ステキです。」

「日常からはなれ、心和む時をありがとうございました」

「アットホーム的でしたばらしかったです」

「温かい雰囲気の中で演奏を楽しませていただきました」

「自分や子どもたちに受けつがれた全校音楽の伝統がよみがえってきて感動しました。まりいずの歌も良かったです」

「山の小さな音楽会というより、とても“大きな音楽会”だったと思います」など、アンケートには温かなコメントが寄せられました。

### 2 心にひびく「まりいず(弓立まりさんら)」の歌と演奏

シンガーソングライターの弓立まりさんは、難聴で自閉症という障がいをもった息子さんのことを歌った「明日は晴れる」、「君がいてよかった」など自作の曲を披露してくださいました。我が子への思いのこもった歌声は、心にひびくものがあります。また、会場のみなさんと手話を交えて「ドレミの歌」を歌ったりしました。

「まりいず」のみなさんの息の合った演奏が素敵でした。



「まりいず」の歌と演奏

### 3 ZMJ 千万町楽校マリンバアンサンブルの素敵な演奏

小田もゆるさん、壁谷桂子さん、大橋志乃さん、荻野詩織さんで結成された千万町マリンバアンサンブルのみなさんは、この日のために事前に練習を重ねて、最高の演奏を届けてくださいました。「剣の舞」などクラシックの名曲から、「となりのトトロ」の「さんぽ」など親しみやすい曲まで、マリンバの音色を響かせてくださいました。心にしみる沖縄の曲、そして手話コーナーでは、大橋さんの手書きのイラストを見て、「世界中の子どもたちが」の演奏に合わせて手話をしたり、歌ったりしました。



### 4 合同演奏をバックに、「歌声喫茶」のように、みんなで歌う！



カフェタイム休憩で、宮ザキ園提供の「わ紅茶」と生協提供のお菓子を楽しんだ後は、合同演奏と参加者全員の歌声コーナーです。懐かしの名曲「青い山脈」「上を向いて歩こう」を会場のみなさんで歌いました。そして、最後は、音楽会恒例の「校歌」と「ふるさと」です。今回は、校歌の「千万町小学校」のところを「千万町“笑楽校”」（ぜまんじょう“しょう”がっこう）と読み替えて歌いました。元気いっぱいの

歌声を聞いて、「千万町楽校」が、みんなが集い、みんなの笑顔がはじける楽しい場所に育っているなあとうれしくなりました。山の小さな音楽会の様子は、ミクスネットワーク「タウン通信」で放映されました。(DVD 貸出可能)

## 団結力発揮！ 千万町・木下第三位！ —宮崎学区大運動会で活躍—



5月26日（土）さわやかな青空の下、宮崎学区大運動会が、宮崎小学校運動場で行われました。千万町町・木下町の合同チームで参加しました。地区対抗種目では、最初の玉入れでは最下位と苦戦しましたが、その後の種目でがんばって挽回し、見事第3位に輝きました。中でも、綱引きでは、団結力を発揮して、種目別優勝を勝ち取りました。

宮崎小学校児童の演技も、宮崎保育園園児の演技も、とても素晴らしく、小さな学校、保育園ならではの真剣で団結力あふれる演技でした。どの子にもその子なりの出番がある、それが小さな学校の良さだなど改めて感じました。